

2014年 7月 31日
 昭和電線ケーブルシステム株式会社

データセンタ等の使用に適した光ケーブルの販売開始

昭和電線ケーブルシステム株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：大橋省吾）は、データセンタや通信事業施設に設置される、通信装置間を接続する光ケーブルとして、軽量で、高強度かつ低摩擦な特長をもつ光ファイバ「**SLick ケーブル™**」（SLick とは **S**trong and **L**ow **f**ri~~ct~~**ion** network ケーブルを意味します）販売開始いたしました。

データセンタ等では、施設の新設による光ケーブルの多条布設工事や、ネットワーク機器やサーバ等の通信装置の更新・増設などで光ケーブルの追加布設や移動等の工事がついてまいります。

本製品は、ケーブルシースの材料を見直すことで、布設工事の際問題になるケーブルへの側圧や摩擦に対応、および一般の光ケーブルよりも細径化・軽量化・難燃化で 10 ギガビット・イーサネット対応した光ファイバケーブルでデータセンタ等の使用に適しております。

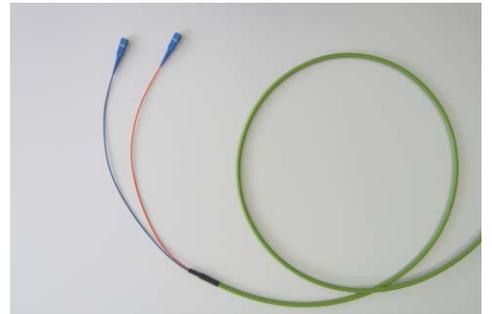
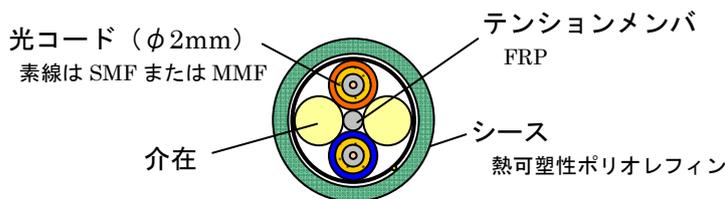
■ **製品の特長**

- ①耐側圧特性※ 約 2 倍 布設時、側圧等の外部圧力を受けてもケーブル内の光ファイバに負荷が掛からない構造で、光伝送損失増加が生じにくい
- ②低摩擦特性※ 約半分 ケーブルのシース材に低摩擦性を有する熱可塑性ポリオレフィンを使用しており、多条布設後に、必要に応じてケーブル引き抜きが容易
- ③難燃特性 JIS C3005 傾斜試験に合格
- ④細径・軽量化※ 最大約 30%細径化、約 60%軽量化

※ 当社の一般ケーブルと比較

■ **製品の仕様**

①ケーブル構造図例 2心構造の場合



※ 本製品は、各種単心コネクタを取り付け販売いたします

②光ケーブル「SLick ケーブル™」の概要

対応光ファイバ	シングルモードファイバ (SMF) マルチモードファイバ (MMF)
構造	コード集合型ケーブル (ノンメタリック)
心数	1~4 心
標準外径	7.0 mm
概算質量	40 kg/km

※ SLick ケーブルは、昭和電線ケーブルシステム株式会社が出願中の商標です

本件に関するお問い合わせ先

昭和電線ホールディングス株式会社 経営企画部 IR・広報グループ TEL 03-5404-6951